

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 722-01-04

事務事業名		会議録作成・配信事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2011	
担当部署名		議会事務局		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち		款	1	議会費
	施策	2	情報共有と広報		項	1	議会費
	施策の方向	2	広報・広聴活動の充実		目	1	議会費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	議員、理事者、市民					
	目的 (どうしたいか)	・会議の経過及び決定した事項の明確化、証明・会議録及び本会議映像をインターネットで公開し、「開かれた議会」を目指す					
	手段 (事業内容)	・年4回の定例会、必要に応じ臨時会、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会等の会議録作成とインターネット公開、本会議映像のインターネット配信					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
当初予算額	事業費	2,983	2,949	3,420	・会議録作成業務委託料等 1,001千円
決算額	事業費	2,139	2,513	-	・インターネット映像配信業務委託料 646千円
	特定財源等	0	0	-	・会議録検索システム用 データ加工業務委託料 451千円
					・会議録検索システム用 保守サポート業務委託料 416千円

活動指標				(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名		会議録作成回数		単位	回		
指標の説明		会議録を作成した回数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度			
目標(見込)		55	48	55			
実績		49	60	-			

成果指標				(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名		適正会議録作成率		単位	%		
指標の説明		適正に会議録を作成した率					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度			
目標(見込)		100	100	100			
実績		100	100	-			

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
当事務事業は法定のものであるので今後も継続していくが、市民ニーズや他市の動向を踏まえ、さらなる作業の効率化と利便性の向上が必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
コロナ禍において、感染リスクの低減と議会をより身近に感じていただくための取り組みとして、本会議映像のライブ配信を開始した。今後も社会情勢の変化を見極めながら配信手法についての検討を続ける。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 722-01-05

事務事業名		市議会だより発行補助事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		議会事務局		連絡先		内線2011	
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	情報共有と広報		款	1	議会費
	施策の方向	2	広報・広聴活動の充実		項	1	議会費
					目	1	議会費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	議員、市民					
	目的 (どうしたいか)	・年4回の定例会を主とした議会活動を市民にお知らせする					
	手段 (事業内容)	・広報紙を媒体とする市議会だよりの発行補助業務					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【印刷製本費】	
当初予算額	事業費	1,655	1,648	1,897	・6、8、11、R3年1、2月号 1,144千円	
決算額	事業費	1,499	1,331	-	・5月号 187千円	
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市議会だより発行回数	単位	回	
指標の説明	市議会だよりを発行した回数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	6	6	7	
実績	6	6	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市議会だより発行補助業務達成率	単位	%	
指標の説明	市議会だより発行補助業務を達成した割合			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	100	100	
実績	100	100	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>当事務事業は開かれた議会を目指し、議会についてより多くの市民に知っていただくために今後も継続していく。ただし、内容等については他市の動向や市民ニーズを勘案し、より分かりやすく充実した紙面になるよう編集委員会に対して助言や提案を行っていく。</p>	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
<p>令和元年5月号から、QRコードを読み取ることにより、議員の質問シーンを録画映像で視聴できる取り組みを行った。今後も親しみやすく、読みやすい紙面となるような取り組みを検討する。</p>

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 731-15-01

事務事業名		議会運営事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		議会事務局		連絡先		内線2011	
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	行財政運営		款	1	議会費
	施策の方向	1	効率的・効果的な行政運営		項	1	議会費
					目	1	議会費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	議員、理事者、傍聴希望者					
	目的 (どうしたいか)	議会活動の充実と効率化を図るため、適正かつ円滑な議会運営を行う					
	手段 (事業内容)	・年4回の定例会、必要に応じ臨時会、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会等の会議が、関係法令や規則などに基づいて遺漏無く的確に遂行されるよう運営の補助を行う(録音、音響調整、記録、議員の出席状況や進行の確認)。また、傍聴規則に基づき、市民及び報道機関などの傍聴に関する業務の実施。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
当初予算額	事業費	192,231	195,238	184,290	・議員報酬 120,796千円	
決算額	事業費	190,866	171,753	-	・議員期末手当 44,065千円	
	特定財源等	0	0	-	・出張交通費 65千円	
					・消耗品、図書、記録等 387千円	
					・協議会室椅子 カーキーニング 126千円	
					・議長会等負担金 796千円	
					・議場等映像音響設備更新 5,520千円	

活動指標				(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名		会期日数	単位	日			
指標の説明		議会が開催された会期日数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度			
目標(見込)		107	110	113			
実績		111	114	-			

成果指標				(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名		適正会議運営率	単位	%			
指標の説明		適正に会議運営がなされた割合					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度			
目標(見込)		100	100	100			
実績		100	100	-			

《事業の参考数値等》

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
当事務事業は法定のものであるので今後も継続していくが、その実施方法は時代のニーズやコロナ禍、社会情勢の変化を常に意識しながら議会の活性化につなげていく必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
先進市の取り組みを参考にするなど、議会改革特別委員会において改善に向け検討していく。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 731-15-02

事務事業名		議会活動補助事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2011	
担当部署名		議会事務局		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち		款	1	議会費
	施策	3	行財政運営		項	1	議会費
	施策の方向	1	効率的・効果的な行政運営		目	1	議会費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	議員					
	目的 (どうしたいか)	議員への適正な補助					
	手段 (事業内容)	・儀式及び交際に係る事務(議会交際費の執行管理)、議員年金(議員共済会)に係る事務、政務活動費に係る事務					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
当初予算額	事業費	56,257	54,313	46,892	・議員共済負担金 46,113千円	
決算額	事業費	51,278	49,236	-	・交際費(供花代等) 7千円	
	特定財源等	0	0	-	・政務活動費 3,117千円	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	補助執行日数	単位	日	
指標の説明	議員への補助を執行した日数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		366	365	365
実績		365	365	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	適正補助執行率	単位	%	
指標の説明	適正に議員への補助を執行した率			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		100	100	100
実績		100	100	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
当事務事業は法定のものであるので今後も継続していくが、実施方法等については、他市の動向や社会情勢を注視しつつ柔軟に進めなければならない。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
政務活動費については、これまで議会改革特別委員会において幾度となく議論され、平成29年度には完全後払い精算方式を導入するとともに領収書等のウェブ公開及び経費の範囲を縮減するなどの改善を行った。今後も市民の理解が得られるよう、議会改革の推進を支援していく。